

(経営数値でみる LCC-3)

ライアンエアとイージージェット概観

2016年9月25日

欧州の2大LCCであるRyanairとeasyJetについて、2015年度の経営数値をもとに概観した。

- ・1マイル⇒1.61kmで換算
- ・金額は1ユーロ⇒113円、1UKポンド⇒131円で換算。

1. 両社の規模と事業態様

- ① Ryanair; 全341がB737-800型機、平均路線距離は1,227km。
毎日835往復便を運航し、売上高は7,385億円。従業員は約11,500人。
- ② easyJet; 全241機だが、A320シリーズの中でも短胴のA319を多用し、通常型のA320はその4割弱。平均路線距離は1,118kmとRyanairよりやや短い。
毎日627往復便を運航し、売上高は約6,139億円。
従業員は約10,100人。

《図表1》事業規模比較（2015年度）

1mile⇒1.61km		Ryanair	easyjet
機数(期末)	機	341	241
便数	便	609,501	457,479
(1日当り往復便)		835	627
平均距離	km	1,227	1,118
従業員数(期末)	人	11,458	10,104

2. 収支概観

- ① Ryanair; 7,385 億の売上げで、利払後の利益は 1,590 億円と利益率は高い (22%)。
費用のうち燃油費が 41% を占め、人件費は 12% と低い。
- ② easyJet ; 6,139 億円の売上げで、利払後の利益は 899 億円 (利益率 15%)。
燃油費が 30% で、空港使用料と空港諸費用が 36% と、燃油費をやや上回っている。

《図表 2》収支比較 (2015 年度)

1ユーロ=113円換算 ポンド=131円換算	Ryanair		easyjet	
	億円		億円	
営業収益	7,385		6,139	
燃油費	2,341	41	1,571	30
機材費	613		313	
整備費	147		300	
空港使用料等	1,642		1,880	36
人件費	662	12		
他の営業費用Net	331		1,174	
(営業費用計)	5,736	100	5,237	100
営業利益	1,650		901	
金融収支Net	-60		-3	
利払後事業利益	1,590		899	
事業利益	1,587		899	
最終利益	1,403		718	

3. 収益性指標概観

(発着当りの指標)

- ① Ryanair ; 発着旅客単価は 6,940 円であり、発着席当りのコストは 5,060 円。
搭乗率は 93% と非常に高い。
- ② easyJet ; 旅客単価は 8,950 円と高く、座席コストも約 7,000 円と高い。
搭乗率は 90% を超えている。

(距離 ; 千³km 当りの指標)

- ③ Ryanair ; 旅客単価 (千³km 当り) は 5,650 円で、座席コストは 4,120 円と低い。
B/E (採算率) は 73% で、搭乗率との差 (20 ポイント) が利益をもたらしている。
- ④ easyJet ; 搭乗率は Ryanair と同レベルの 93%。発着ベースより高いのは、長距離路線での搭乗率がより高いためと考えられる。
旅客単価 (千³km 当り) は 7,900 円で Ryanair より 4 割も高いが、これは Ryanair が基幹空港を避け、低コストの周辺空港を利用して徹底的に低コスト⇒低運賃を志向するのに対し、easyJet は基幹空港を使用しながら、他の航空会社より相対的に低いコスト⇒その空港では最も安い運賃を志向するという、事業モデルの差によるものと思われる。
B/E (採算率) は 79% と Ryanair よりやや高いが、これを安定的に高い搭乗率でカバーしている。

《図表 3》収益性指標の比較 (2015 年度)

1mile⇒1.61km		Ryanair	easyjet
座席数	千席	114,442	75,000
旅客数	千人	106,431	68,600
搭乗率(発着)	%	93	91
旅客単価/人	円	6,939	8,948
座席コスト/席	円	5,064	6,987
B/E(発着)	%	73	78
ASK	百万 ³ km	推定	83,846
RPK	百万 ³ km		77,619
搭乗率(距離)	%	↓	93
旅客単価/千 ³ km	円	5,655	7,909
座席コスト/千 ³ km	円	4,127	6,250
B/E(距離)	%	73	79

4. 財務状況比較（2015年度末）

- ① Ryanair；総資産 1.27 兆円のうち航空機材が過半の 7,000 億兆円を占める。
有利子負債は 4,550 億円（総資産の 36%）。
3,580 億円の留保利益がある。
- ② easyJet；総資産は Ryanair の半分の 6,300 億円で、航空機がその 6 割を占める。
有利子負債は 660 億円（総資産の 10%）と少ない。
自己資本比率が 47%と高く、そのうち留保利益が 36%の 2,250 億円。

《図表 4》貸借対照表比較（2015年度末）

《 Ryanair 》			《 easyJet 》		
	億円	%		億円	%
現預金	4,883		有利子負債	4,546	36
航空機材	7,075	56	他の負債	4,066	
			(負債合計)	8,612	68
			資&資剰金	822	
他の資産	718		利益剰余金	3,578	28
			その他	-335	
資産合計	12,677	100	純資産合計	4,064	32
《 easyJet 》			《 easyJet 》		
	億円	%		億円	%
現預金	1,230		有利子負債	660	10
航空機材	3,769	60	他の負債	2,718	
			(負債合計)	3,378	53
			資&資剰金	1,005	
他の資産	1,326		利益剰余金	2,253	36
			その他	-312	
資産合計	6,325	100	純資産合計	2,946	47

以上